第 2014-11 号

恵みと真理のニュース

2014 年 3 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 主を離れいつも失敗した人生が主を捧げ 真な永遠な福を享受するようになりました。

私は子供のごろ熱心に神様を信じ捧げる親もとで生まれ育ちました。子供の頃にも心で大人になったら親のように神様を良く信じようと念を押しました。しかし貧しい家庭の事情で早く親を離れソウルで忙しい会社生活をして教会に通うことは考えられませんでした。
1981 年職場の同僚の紹介で結婚をして二人の兄弟を生み育てました。内向的な性格のせいか人々と交わる事が嫌いで外で出るのも好きではありませんでした。人生が楽しくなくて体の調子もわるくて日々生きる理由もない生活が続きました。そんな私をかわいそうと思った旦那が一日はいつも明るく生活する人の話をしながらその執事について教会にいってみるのはどうと勧めました。当時は旦那も信仰がない時でした。
すぐ行きたい気持ちはなかったですが、子供のごろ親の姿が思い出し胸がわくわくしする心で子供をつれて教会に行きました。聖歌隊員が賛美するのを見たらまるで想像の中で描いた天子の様子のようでした。私も賛美を歌う時感動を受け涙を流しました。しかし、続けて礼拝に参加しても説教が耳によく入りませんでした。説教のなか政治、社会の話をたくさんしてあまり感動は受けませんでした。また礼拝時間に先週に献金を捧げた人の名前を呼ぶのがあまりよくみえませんでした。信仰が成長する前に心に傷ついて教会に行くのをやめました。
以前の生活で戻ってきた後、家庭の生活はもっと苦しくなり、旦那の仕事ことに悪い状況になり何回も引越ししました。そうするうちに占い師という人々と偶像崇拝する人たちが家に来て様々な話で私を惑わせました。旦那がソウルではもうこれ以上する仕事もなく知っている人がソンナンで商売をしているがまあまあできるみたいなのでソンナンに引越しをしようとしました。私には不慣れなところでしたが藁にもすがる気持ちで引越ししました。その時が 1989 年、息子がちょうど小学校に入学した時でした。
旦那が小さいトラックを買って初めて果物を売るため出た日に自動車事故をおこしました。人の怪我はなかったですが相手の車が高い車でした。その時間私は新しい心で家の近くの教会の朝祈り会に参加しているときでした。本当の占い師の話があっているか、私は教会に通ってはいけない人なのかとても恐れました。
ある日は偶像崇拝をする人々の話を聞いて夜明けにうつわにお水を入れて拝んだり、毎月 1 日 15 日になったら旦那のトラックにお酒をかけて拝むまで至りました。それが怖れる罪であるとも知らなくてそんな生活に慣れていく頃息子が体の熱が上がって学校から家まで 泣きながら帰って来ました。
家の近くの病院で“先天性の心臓病”のようだとおおきい病院に行きなさいと言いました。瞬間何も見えなかったです。“なぜ私のこの事ができたのかやることによくできないのか”と思いただ涙を流しました。
以前うちにお坊さんをつれて来た人が息子をその寺につれて行ってみようとしました。お坊さんの話は“心情病ではなく酷いかぜにかかったので祭祀を捧げると治ると言いました。しかし、何日後再び熱が上がって病院に行ってみたらまた早く大きい病院に行くことを勧めました。
しかし、お坊さんは相変わらず病院に行く必要がないと子供に手術をさせてはいけなくてまた祭祀をしなければならないと言いました。その話を聞いた医師は彼らの過ちをとがめて訴えなければならないと興奮しました。愚かな私はやっと気を取り戻しました。彼らの話を聞かなくて旦那と一緒に息子を連れて大きい病院に行きました。そして息子が手術を受けるあいだ神様の前で涙を流しながら悔い改める祈りと息子が治るように願い求めました。
“神様、私が過ちました。今までとても愚かでした。これから神様をよく信じ熱心に教会に通います、息子が治るなら主に息子を捧げます。”と約束の祈りも知らない私が祈りました。小学校 1 年生の息子がむしろ明るい笑顔で手術を受けてきますと私達を安心させました。私は家に帰ってすぐ祭祀をする時使った器から割れ捨てました。5 時間にかけて手術がよく終わって息子が早く回復されました。アンヤン聖殿の恵みと真理教会に通い今まで私達に切にイエス様を信じようと伝道した妹がブンダンにも恵みと真理教会があると首区域長を紹介してくれました。一回、二回教会に行って礼拝を捧げるほど恵みと感動を受けました。以前教会とは違い心の中にも負担もなくただ平安になり説教にも集中する事ができました。救いの確信を得て恵みを受けって自ら神様に献身したい心ができむしろ今まで献身できなかったことが惜しいでした。信仰と愛で充満な区域長をモデルにして教会生活になれ私もいげんの賜物と区域長の職分も愛し求めました。日々御言葉の恵みを受けて聖霊に満たされ今は世の中のことに楽しみと興味がなくなりました。その代わり今は教会で奉仕し伝道することがとても楽しくなりました。旦那が主日ことに私と子供達を連れて教会まで行って駐車場で待ちまた家まで連れて行くことを繰返しましたがなかなか心が開かなくて惜しかったですがある日には礼拝まで参加しました。主日ことに家族から疎外され一人ぼちになった気分がして教会に行ったと言い訳ではない言い訳をしました。旦那と共に礼拝する事が本当に嬉しかったです。
その日から私達の家族は熱心に信仰生活をしながら大変な家庭の中でも心は幸せで家も平安になりました。息子と娘も教会学校で熱心に礼拝し職分を受けて奉仕しながら信仰が育ちました。息子が牧師になるため神学大学に行くことを願いましたが経済的に大変で専門大学に進学しました。息子が卒業してから軍隊に入隊しましたが一週間ぶりに家に帰って来ました。過去心臓病にかかって手術まで受けたから現役兵として入隊する事ができないのにどう入ったか分からないと再検査を受けると言ったからです。確かに兵務庁では身体検査で 1 級の判定を受け入隊まで訓練所まえ行ったのにこんな措置されて私達の夫婦は心が苦しかったでした。また他の人々からこんな否定的なことを聞かれてしまい、息子は傷を受けました。息子を車に乗せて陸軍病院に行って再検査を受けに行くうちに私たちの夫婦は心が苦しかったです。神様に切に祈りました。神様の栄光を捧げます。神様の哀れみと愛を人々に証拠するように祈りました。息子を連れて行って帰って来る道が 20 分過ぎたら息子から電話がかかって来ました。
直感的に神様が私の祈りに答えてくださったと思いました。“お母さん、軍隊に行きます。また 1 級の判定を受けました。”神様は息子が 4 年間近く軍隊で勤めるあいだ共にいてくださいました。心臓に異常がないように守ってくださり、専攻でもないのに高い競争率を通過してイラクへ写真記者として派兵されそこで多くのことを見て、聞いて悟って宣教のビジョンを与えてくださいました。私は首区域長の職分を受けても経済的な状況で職場に通うため忠誠をしてなかったので心が不便でした。
仕事が忙しくて出勤する途中で凍った道で滑って転んで頭に怪我をしました。病院で様々な検査を受け脳腫瘍の診断を受けました。すぐ大きい病院にいって手術を受けなければならないと言いましたが私はその事項で病気をもっと早く発見された事を神様に感謝をしました。そして、去年 1 月に手術を受けました。手術を受ける前当会長牧師に案手祈りを受けましたが心が平安になり神様が治してくださる確信になりました。
手術がよくできて回復も早かったです。病気を通してもっと神様の愛と権能と祈りの力を体験しました。宣教会でも多くの聖徒達が私のため祈ってくださいました。
息子は除隊してからパンキョ聖殿で教会学校の教師として奉仕しながら神様から召命をうけ神学大学に編入して、オクチョンにある教会の牧師の娘と結婚して伝道士として献身しています。今年牧師の任職を受ける予定です。小学校の一年生の時心臓手術を受ける直前私が神様に捧げた約束の祈りが答えられたのです。ハレルヤ！娘も教師として奉仕するなかで神様をよく信じ捧げる家庭の配偶者に出会い結婚して二人の息子を産み元気に暮らしています。
旦那は安手執事になり今は神様の恵みで私達の教会で職員として働いています。私と家族に主がくださった恵みと愛をどう返しますか、万個の口が私にあっても主の恵みを全部賛美することができないです。主を愛します。感謝します。ハレルヤ！

［信仰コラム］ あなたたちはこんなに祈祷せよ

″だからあなたたちはこんなに祈祷せよ天にいらっしゃる我らの父よの名前が聖なると思って御國みくにを 來きたらせ たまえ…″(マタイ福音書　6:9~13)

信仰生活というお祈りで点綴された生活といえます。お祈りのない信仰生活とは泉が乾かれてしまった井戸であり、根のない木です。それは発展と向上が止まって後退することになります。私たちの一日はお祈りで始めてお祈りで進んで、お祈りで終わらせなければなりません。
どのように祈るべきかを問う人に″祈りとは難しくありません。ただ心の願いを神様に申し上げたらいいです。″と答えるのは間違ってはないが、十分な答えになりません。聞く人はお祈りの要領を知りたいからです。
神様の弟子たちもイエスにそのような要求をしたことがあります。本文の神様が教えた祈祷文は、すべての祈祷の例文になります。とても簡潔だが完全で豊かな内容が込められた祈祷文です。

’天にまします我らの父’という称号を呼んでいながらお祈りが始まりました。私たちのすべてのお祈りは’天にまします我らの父’に求めることとなる必要があります。そうでないものは迷信的な行為に過ぎないのです。’天にまします我らの父’は聖書に啓示された神様です。神様を’天にまします我らの父’と呼ぶには色々な意味があります。
神様は一方だけいる事実と神様が私たちに面倒を見てくれるという事実を教えてくれます。また、罪人を救援するために、御子を世に送った父で天地を創造して無所不在して全知全能の神という事実を教えてくれます。神様は私たちが祈る時に愛と権能を無限に持つ神様に訴えて探しているという事実を教えてくれました。
″イエスが教えた祈り″を 3 部分に分けることになります。
第一部は、自分が神様と正しい関係の中に生きるよう求めるお祈りです。
二部は、自分の生活に必要なものと危険での助けを求めていることです。
第三部は、永遠な神様を賛美し、自身の信頼を確かめる内容です。神様に向かって″天にまします我らの父″と呼ぶ人は次のような内容でお祈りしなければなりません。
まず、自分が神様と正しい関係の中に生きようお祈りしなければなりません。神様の名前が神々しくなることをお祈りしなければなりません。これは聖なる暮らしのための祈願です。

神様の国が取り組むよう祈祷しなければなりません。これは神様の統治を全面的に従うための祈願です。私たちの生活の現場に神様の意味が行われるように祈りしなければなりません。これは神様が思ったとおり信頼しながら暮らします。
次に、我々の生活に必要なすべてのものと助けを頼みます。日用する様式を求めなければなりません。これは今日の要求に対する要請です。

優しくて富饒な父、神様に求めなければなりません。罪を許していただけますように求めなければなりません。これは、かつて犯した罪について許しを請えるかである。イエス・キリストの贖罪を信じて求めなければなりません。試験に入らないでにして悪から守ってくれることを求めなければなりません。
これは未来に直面することになる危険に対する保護を求めることです。聖霊の助けることを深く意志して求めなければなりません。最後に神様の永遠に賛美しながらアメンと確かめて表明しなければなりません。
″神様が教えた祈り″は私たちの存在する全体を神様に捧げる祈りであり、また、神様を私たちの生活のあらゆる領域に及ぼす御祈りです。そして全ての願いを包括したお祈りです。″神様が教えた祈り″が皆様の生活や祈りに適用されて活用されて感動的な体験があふれることを願います。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

わたしには乏しいことがない

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

聖書の句節の中には核心的なメッセージを包括した含蓄性ある句節たちがあります．その中に何句節を列挙すればこのようです．**“はじめに神は天と地とを創造された。”（創世記 1:1)**．この句節は信仰の門に入って行く初の段階としてこれを信じるのかいやかによって一方道は無信論者の道で，他の道は神様を信じる者の道になります．虚無と滅亡と地獄なのか，救いとさいわいと天国なのかという分かれ道になります．**“悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。このような人は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。”（詩篇 1:1,2)**．この二つの句節には何が真のさいわいでどのようにするとさいわいある人になるかを簡単明瞭するように規定しておきました．**“神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。”（ヨハネによる福音書 3:16)**．限りなく大きい救いの恵みと真理がこの句節の中にすべて入っています．**“主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。”（詩篇 23:1)**．聖徒たちの実際が非常に切実に含みされている句節です．神様と信者の関係そして信者が享受するようになる神様の恩寵を如実に現わしています．**“主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない**”という言葉の意味を皆さんが充分に分かるようになればこの句節を暗誦することだけで無限な喜悦と幸い感を持つようになるでしょう．

今日はこの句節の意味を本文全体を通じて詳らかによく見ます．**“わたしには乏しいことがない**” という言葉の空虚な音ではなくて事実と符合しようとすれば **“主はわたしの牧者です**.”という信仰の告白が先行されなければなりません．イエスキリストがおっしゃるのを **“わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。”（ヨハネによる福音書 10:11)**，**“自分の羊をみな出してしまうと、彼は羊の先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、彼について行くのである。”（ヨハネによる福音書 10:4)** しました．ここに二つの要点があります．第一，善良な牧者は羊たちのために命を捨てると言いました．第二，羊たちは自分の牧者が分かってその音声を聞いて従うと言いました．イエスキリストが彼の羊たちのためにこの世の中へいらっしゃって私たちのとがと罪を担当して十字架に釘つけられて死んで墓で復活しました．このような事実をそのまま信じる人々はイエス様の羊たちです．これらは **“わたしには乏しいことがない**.” と言えてそのように言うのが適当です．その理由をよく見ます．

第一は、わたしを緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われるからです．

羊たちに緑の牧場の青草は食糧です．神様は宇宙と歴史を主観なさって攝理なさる大きい神様であるのみならず彼の民，彼の子たちの日用する食糧を供給してくださるやさしい父の神様です．神様が教えた祈祷に“今日私たちに日用する食糧をください”という内容があります．神様は広野を行進するイスラエル民に日用する食糧を供給してくださいました．おおよそ 40 年の間天からマンナを下げるようにして食べさせました．数百万人が耕作するとか刈り入れることがない広野で 40 年を送ったが飢え死にした人は一人もいなかったです．イエスキリストがおっしゃるのを **“だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思いわずらうな。これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。 まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。”（マタイによる福音書 6:31～33)** しました．聖徒の皆さんは先に彼の国と彼の義を求めてください．そして一生の間に時によって日用することを供給する神様の手助けを体験しながら “わたしには乏しいことがない.” と音高めて言ってください．

二番目は、私を休む所に導くからです．

休む所と言うのは平安と安息を意味します．神様がくださる心の安息，どこでも享受することができる安息です．イスラエル民が広野の道に入るようになった時彼らは灼熱する日盛りの陽光と夜の寒さを耐えなければならないことを思わざるを得なかったです．それはすごいストレスの要因です．ところで実際はそんな気候問題が全然ストレスの要因にならなかったです．神様が昼には雲の柱でイスラエル民たちの上に天幕になってくださいました．夜には火の柱で暖かくしてくださいました．そしてイスラエル民は休む所に導き羊のように広野を通行しました．神様は聖霊とみ言葉で今日も私たちの心霊に平安と喜びをくださって休むことを得るようにします．イエスキリストがおっしゃるのを **“すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。”（マタイによる福音書 11:28)** しました．聖霊充満をいつも求めてみ言葉を気に掛ける人はストレスの要因が多い広野の道を歩きながらも奇妙な平安と喜びを体験しながら生きて行くことができます．

三番目は、主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しい道に導かれる。

世の中に生まれるすべての人の魂は神様の命で離れ去っているしとがと罪で死んだ状態にあります．このような人間が誰でもイエスキリストを信じれば罪の赦しを受けて新しい命を得て神様の子でまた再び産むようになります．そして神様の義を着るようになります．**神様の義はイエスキリストを信じる信仰による神の義であって、すべて信じる人に与えられるものである。そこにはなんらの差別もない。すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。.（ ローマ人への手紙 3:22～24)** 神様がくださった永生と義がどんなことなのかを知り合いは “わたしには乏しいことがない.” と音高めて言っても良いです．

四番目は、わたしと共におられるあなたのむちと、あなたのつえはわたしを慰めるからです．

人生の道には死の陰の谷を歩むともあります．このような時もわざわいを恐れません神様が取り計いします．主が一緒にしてくださると言いました．聖徒たちは人生の道を一人で歩きません．神様がお供します．だから死が迫って来ると言っても恐ろしいことないです．神様が私たちの手を握って天国で導いてくださるからです．主の杖と棒で導くからと言いました．皆さんは神様がお供しているから “わたしには乏しいことがない.” と言ってください．

五番目は、私の杯はあふれます．

“主が敵の前で、宴を設け、わたしのこうべに油をそそがれる。” と言いました．これは敵が見る前で勝利を得るようにしてくださるという意味です．“私の杯があふれるのです” しました．敵の目前で宴を設けてくださって油を頭に注いで杯があふれるようにします．敵の妨害を乗り越えることから一歩進んで災いが転じてさいわいとなるようにしてくださることを意味します．杯があふれるようになさる神様によって聖徒たちは “わたしには乏しいことがない.” と言えます．

六番目は、主の恵みといつくしみとが伴なうからです．

私たちが困境に処すれば神様の善良さといつくしみ深さを疑う考えが気に染みこみます．善良さと慈しみ深いことは神様の便しない性分です．だから皆さんは **“主の恵みといつくしみとが伴なうからです**.”と言ってください．人が太陽を向けて歩いて行けば影が不可欠でよることと一緒に神様を仕える聖徒の一生に神様の善良さと慈しみ深さが全く従うようになります．皆さんは神様の善良さと慈しみ深さが全く皆さんに付くことを思いながら “わたしには乏しいことがない.” と音高めて叫んでください．

七番目は、わたしはとこしえに主の宮に住むからです．

この世の中でエホバの家と呼ばれる所は教会です．教会は神様の子になった聖徒たちが一緒に集まって神様を礼拝する家です．聖霊充満すれば教会に集まって礼拝して奉事して聖徒たちと付き合うのが楽しいです．聖徒は世の中でこんな楽しさを享受している途中でついに天に予備になった父の家に行くようになります．そしてその所で永遠に住む事になります．**“わたしはとこしえに主の宮に住む からです.”** しました．将来私たちが父の家に入って暮すようになれば “わたしには乏しいことがない.” と全心をつくして音高めて叫ぶようになるでしょう．

“エホバは私の牧者だから私には乏しいことがない”．こんなに歌いながら告白することができる人は無限にさいわいな人です．まだイエスキリストを救世主に迎接しない人はこの時間心を開いてイエス様を迎接してください．そんなにして “エホバは私の牧者です.” と言えるように願いします．もうイエスキリストを信じて愛しながら仕える聖徒の皆さんは詩編記者といっしょに “エホバは私の牧者だからわたしには乏しいことがない.” と音高めて証言なさるように願いします．